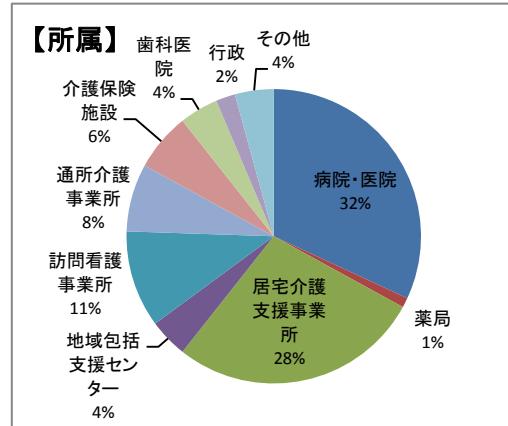


平成25年度 第1回ほたる多職種研修会アンケート

参加者115名 アンケート協力者94名 回収率81.7%

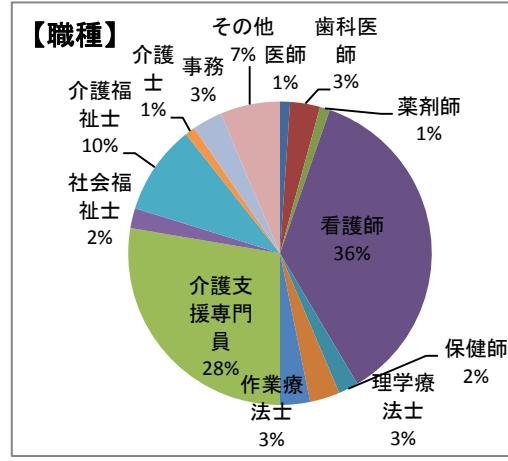
【所属】

病院・医院	30
薬局	1
居宅介護支援事業所	26
地域包括支援センター	4
訪問看護事業所	10
訪問介護事業所	0
通所介護事業所	7
介護保険施設	6
歯科医院	4
行政	2
その他	4



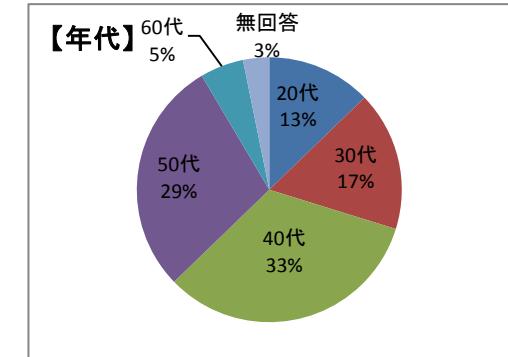
【職種】

医師	1
歯科医師	3
薬剤師	1
看護師	34
保健師	2
理学療法士	3
作業療法士	3
言語聴覚士	0
介護支援専門員	26
社会福祉士	2
介護福祉士	9
介護士	1
事務	3
その他	6



【年代】

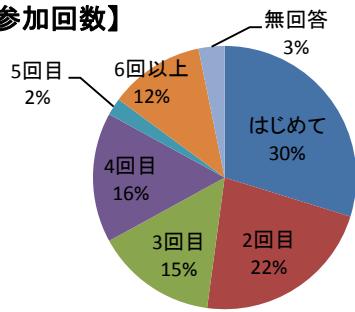
20代	12
30代	16
40代	31
50代	27
60代	5
その他	0
無回答	3



【ほたる多職種研修会への参加回数】

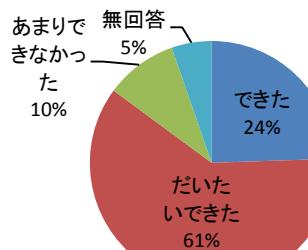
はじめて	28
2回目	21
3回目	14
4回目	15
5回目	2
6回以上	11
無回答	3

【参加回数】



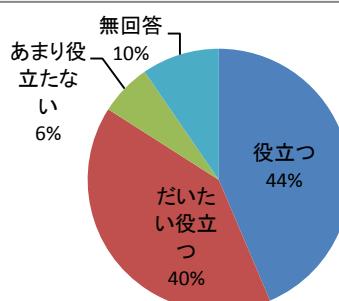
I、研修会の内容は理解できましたか？

できた	23
だいたいできた	57
あまりできなかつた	9
できなかつた	0
無回答	5



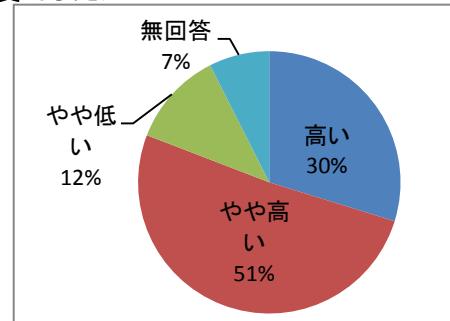
II、研修会で学んだことは実践の中で役立ちますか？

役立つ	41
だいたい役立つ	38
あまり役立たない	6
役立たない	0
無回答	9



III-1、研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか？

高い	28
やや高い	48
やや低い	11
低い	0
無回答	7



III-2、その理由はなぜですか？

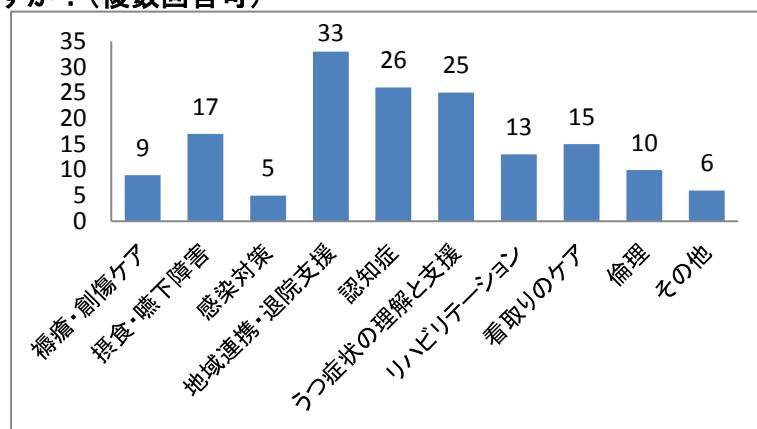
- ・在宅療養の現実について知らなかつた事を学ぶことができた。
- ・医療の現場以外にもためになる言葉がたくさんありました。
- ・初めの面談で必要な情報をきちんと伝えることで家族、患者の気持ちが固まると感じた。
- ・話が楽しく興味深かった。
- ・医療分野の状況把握や理解が深まる。
- ・実際に難病の方に関わっていないが、高齢者にも同じことが言えると感じた。
- ・話が面白かったし、こうこうこうやって言って…等詳しく聞けて参考になった。
- ・患者の家族関係で悩んでいましたが、元気をもらいました。
- ・知らない事があったから。
- ・良い事も悪い事もはつきり時間をかけて言っていく事が大切なんだと思いました。
- ・明日から使える知識がある。
- ・とても良い内容でしたが、早口で自分には理解に追い付くのが大変でした。
- ・IC、説明すること、向き合い方など現場での対応。
- ・色々なことを聞けて良かったから。
- ・先生からエネルギーをもらうことができた。ネットワークの重要性を改めて感じさせられた。
- ・実際に自分も実践したいと思いました。早口で聞きとれなかつた所もあり、もっと前にいければよかった。前向きな考え方。
- ・対人関係での心構えを学び、気持ちよく受講できた。
- ・具体的なケアというより、精神面ですごく力をもらいました。
- ・以前、身体障害者療養施設に勤めており、ALSの利用者が二人いました。病気の進行に伴う決定で同僚が大変だったことを思い出します。この研修が出来ればもっといい対応ができたので色々な経験にもとづく話が聞けて良かった。
- ・職種が違っても日々の臨床に役立てることが出来そうです。在宅療養の知識がちょっと増えて嬉しいです。
- ・早口で耳がついていけなかつた。内容がすばらしいだけに残念だった。巻き戻してスローにして聞きたかった。
- ・音響が悪く(響いて聞こえにくい)よく聞き取れず疲れた。後ろの方で聞いたから？
- ・アロママッサージ気持ちいいことを知った。修羅場を乗り越えてきたんだなと思った。

IV、今回の研修で得たこと、学んだことがありましたらお書きください。

- ・早期からイメージがつけられるように説明。この地域にコーディネーターがいない。庄内支庁の保健師にもっと活動してもらつたらいいのか？
- ・所属する施設の事情を説明する事で在宅療養の必然性を理解してもらう。
- ・難病に対する向き合い方は真剣に本気で向き合うことが大切だということ。
- ・難病の研修会とは思えないパワフルな研修でした。考え方を変える事も必要だと感じました。
- ・難病医療専門員の役割、患者との関わり方のポイント。
- ・コーディネーターは通訳。分かりやすい言葉で患者、家族に分かるよう伝えていく。
- ・毎日を明るく楽しく前向きに過ごすコツ、「楽しくしていると人も運も寄ってくる」。
- ・コーディネーター役の大変さを知りました。訪問リハを行っている身として今よりも横のつながりを大切にしていきたいと思いました。
- ・仕事の事だけでなく、生き方も学んだ。
- ・その時点で患者にとって厳しい事でも伝えることが必要に共感。
- ・コーディネーターはこうで、失敗してもあえて嫌われても最後まで看ること、ベストを尽くすことが大事。
- ・家族との関わりについて。
- ・横の連携を大切に信頼していただける人になりたいと思いました。
- ・早い段階から本人・家族と共に現場スタッフが意思確認をし、共有していくこと、たくさんの話を関係者でしていくことの必要性を学びました。
- ・コミュニケーションのとり方が大切だと改めて実感。
- ・仕事に対する姿勢や難病の方には厳しいけれどもきちんと事実を伝え、決して見放さないことが大切であること。明るさや楽しさをもち生きることが大切だと学んだ。
- ・地域連携には手間をおします、自分から動くべきだと思いました。
- ・笑顔をもっと、安心をもっと、便利をもっと、やすらぎをもっと。
- ・アロマで少しでも利用者を癒してあげたい。
- ・気持ちの持ち方。
- ・人と人をつなぐものは人。諦めずに連携力を活かして地域連携を推進していくことが重要。
- ・支援するということは現実に向き合うことからであると再認識しました。
- ・腹を据えることが大事。知らない事ばかりでとても勉強になりました。
- ・レスパイト入院で在宅介護が頑張れる。早い段階からどうしたいか決める。いい事も悪い事も説明する。
- ・人生論。
- ・多職種連携の際、相手の状況を把握してまず知る。それからどう動くと良いか考えるだけじゃなく聞く。
- ・連携の仕事をしていく上で大事なコツを意識し、業務に活用していきたい。
- ・患者、家族へ無駄な期待をさせない。何があっても最後まで傍にいることを伝えていく。見通しを本人、家族、チームにも伝えていく方がトラブルがない。
- ・相手も自分も騙さないこと。
- ・普段の業務に置き換える事もできるように感じた。
- ・難病コーディネーターの必要性、意義を感じた。
- ・難病の方の支援(心構えとコミュニケーションのとり方)
- ・チームでのかかわり、連携のコツ。
- ・難病コーディネーターの役割とチームの連携体制について。
- ・アロママッサージは気持ち良かった。
- ・何事にもまっすぐ体当たりで！ということ。
- ・人脉、本質を見極める力、コーディネーターの力。
- ・コーディネーターの役割。

V、今後取り上げてほしいテーマは何ですか？(複数回答可)

褥瘡・創傷ケア	9
摂食・嚥下障害	17
感染対策	5
地域連携・退院支援	33
認知症	26
うつ症状の理解と支援	25
リハビリテーション	13
看取りのケア	15
倫理	10
その他	6



その他内容…

- ・発達障害、支援
- ・社会保障制度について(医療費、年金など)
- ・精神疾患
- ・高齢者の心理
- ・皮膚疾患(多い湿疹とケア方法について)在宅介護・看護で役に立つケア方法。
- ・施設紹介等、どのように繋げるか?情報提供等あれば(最新のものがあれば)

VI、その他、研修内容に関する意見や感想等ご記入ください。

- ・本音や人間関係をヒアリングするためのアプローチ方法。
- ・色々な本音のお話を伺うことができ、大変有意義な研修でした。ありがとうございました。
- ・パーソナル障害者に対する支援。
- ・とても楽しい話でした。アロマも良かったです。
- ・定期的にこのような研修に参加することで日々の業務に前向きになれる気がします。
- ・早口で理解するという状態でしたが、とても分かりやすいお話で楽しく過ごせました。ありがとうございました！！ご苦労さまでした。
- ・大変勉強になりました。
- ・参加者のリスト(所属、氏名等)が欲しい。名刺交換などし、連絡し合えるようにしたい。せっかく足を運び顔を合わせる機会だったので。簡単なグループゲームをして、名前を知るタイミングにしたり、今向き合っていること、今力を入れて取り組んでいることなど、もっと親近して帰れると思ってもいいと思います。
- ・言葉が流れるようで聞きとれなかった。残念。ゆっくりはっきり話してほしい。
- ・家族の話がかなり出ましたが、笑えなかった。いろんな家族の形があるのは分かるが、素直に聞き入れられなかったのが正直でした。
- ・鶴岡にもレスパイト入院できる場所(病院)を多く作ってほしい。